

# 「ロータリーは地域と共に」

(国際ロータリー第2690地区)



## 倉吉東ロータリークラブ週報

KURAYOSHI-EAST ROTARY CLUB WEEKLY

会長 清水雅文  
副会長 川本博文  
幹事 尾西正人

例会場 倉吉シティホテル2F TEL0858-26-6111

<http://www.east-rotary.jp>

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

E-mail: kurayoshi@east-rotary.jp

事務所 〒682-0023 倉吉市山根543-7 倉吉シティホテル3F

TEL: 0858-24-6300 FAX: 0858-24-6301

2019年12月25日より電話・FAX番号が変更になりました。

令和2年3月26日(木) 第2426回 例会報告 No.2292

ソング 我等の生業

食事 洋食弁当

会長時間

皆さん、こんにちは。

今日は「楽聖忌」、「カチューシャの唄の日」です。

1827年、かのドイツの作曲家ベートーベンがウィーンの自宅で亡くなりました。ベートーベンは多くの交響曲を作曲し、「楽聖」と呼ばれました。3日前、甥のカールを唯一の相続人にするように遺言書を補足し、「諸君、拍手したまえ。喜劇は終わったのだ」という有名な言葉を吐きました。29日の葬儀には2万人の市民が参列し、宮廷歌手が棺を担いでフンメルら弟子たちがそれに続いたそうです。

もう一つ、「カチューシャの唄の日」ですが1914年(大正3年)のこの日、島村抱月と松井須磨子が起こした劇団「芸術座」が、トルストイの『復活』の初演を行いました。この中で歌われた『カチューシャの唄』が大流行したそうです。

先例会で国際大会の件をお話ししましたが、その日の午後正式に大会中止案内が届きました。世界中が渡航禁止、渡航制限を打ち出している以上、仕方ないと思います。予約されている方は早めのキャンセル手続きをされた方がいいと思います。

以前七十二候についてお話しさせて頂きました。春は立春、雨水、啓蟄、春分、清明、穀雨に分かれます。3月20日は春分の日でした。春分とは、太陽が真東から昇り、真西に沈む日のことです。昼と夜が同じ長さになる春分の時期を二十四節の大きな節目の一つとします。春分の日を中日に、前後三日を含めた七日間が、春のお彼岸です。だんだん過ごしやすい季節になってきます。

春分は初候、次候、末候に分かれています。初候は「雀初めて巣くう」と言われ、雀が枯草や毛を集め、巣を作り始めるころ。およそ3月20日から24日頃を示します。

次候とは「桜始めて開く」と言われ、その春に初めて桜の咲くころ。およそ3月25日から29日頃を示します。

末候は「雷乃声を発す」と言われ、春の訪れを告げる雷が鳴りはじめるころ。およそ3月30日から4月3日頃を示します。

こんな情勢の中でも季節は確実に春になってきました。春を目出、桜(はな)を目出、心豊かに日々を

暮らし、来週も元気に、明るく例会でお会いしましょう。以上で会長時間を終わります。

皆さんごきげんよう。

幹事報告

○国際ロータリー会長より 国際大会中止についてのメッセージ

○国際ロータリー日本事務局より 国際大会登録料の払い戻しについてお知らせ

○4月は第3回IDMの開催月です。4月中に開催してください。

委員会報告

○出席委員会

会員数 48名

出席会員 34名

欠席会員 9名

免除会員 5名

本日出席率

79.02%

第2424回出席率

91.67%

スマイルファイン

○前畑俊幸会員:3月17日のクラブフォーラムでは会員の皆さんに大変お世話になりました。

○藤原賢治会員・河崎一寿会員:本日卓話いたします。

○村田康之会員:ゴルフ同好会のコンペで馬券が当たりました。ありがとうございました。

○藤井武親会員:コロナに負けず元気です。

○遅刻1件、早退2件、欠席2件

卓話



河崎一寿会員



藤原賢治会員

Rotary



一 真実かどうか

二 みんなに公平か

三 好意と友情を深めるか

四 みんなのためになるかどうか

四つのテスト

言行はこれに照らしてから



2019~2020年度国際ロータリーのテーマ

RI会長 マーク・ダニエル・マローニー

ロータリーは世界をつなぐ